

<2023年度事業計画書>

【事業方針】

2023年度、当協会は海の森水上競技場での事業、大会運営にチャレンジします。更に、東京都カヌー連盟と協働して、2020 オリパラのレガシー計画にある、総合型地域スポーツクラブ「(仮称)海の森スポーツクラブ」を設立することも2023年度の重要な事業です。

コロナの影響が完全になくとは考えにくい状況下で、海の森水上競技場と戸田漕艇場の2コースを使い分け各事業、大会運営を行うことは、当協会にとって初めて尽くしとなり、「例年通り」ではままならない、難しいかじ取りが必要な1年となります。

2023年度、当協会は以下4点を中心に、どう成長戦略を描き推進するか・・・これを目標に掲げたいと考えております。

◎1点目：協会財務体質の強化

2023年度より、海の森水上競技場での大会開催、スポーツクラブの設立などあらたな取組みが始まります。加盟団体の皆様に満足していただけるサービス（競漕会やSDGsの取組等）の提供や“気軽にボートに触れる機会を提供する”など、東京都のボートシーンを次のフェーズに押し上げ、皆様のニーズに応える協会に進化するためにも、必要な資金を確保する財政面の強化が必要です。

一方で、物価上昇や燃料・電気料金等さまざまな「コストアップ」が避けられない中で、コスト削減や収入を増やす施策も待ったなし、となります。他競技団体や他府県ボート協会にもヒアリングをするなど、管理本部を中心に各本部関係者にも加わっていただき、「財務強化委員会」を立上げ、本件に精力的に取り組む所存です。

◎2点目：海の森水上競技場の利用開始（第1フェーズ）

いよいよ2023年度から当協会でも同競技場の利用を開始します。2022年度までは、加盟団体の皆様や普及本部を中心とした枠組みで、東京都や指定管理者のイベントでボート教室を開催するなど、栃木国体関東ブロック大会の運営を除いて、当協会は受動的に同競技場を利用しました。

2023年4月には東京都がステッキボートを設置して、レースを発艇できる備品一式を同競技場に整備します。これにより、1,000m～2,000m間の1,000mレースが可能になるほか、500mのスプリントレースなど戸田漕艇場同様、比較的自由的なコース設定ができるようになります。

当協会も東京都からの利用要請があることを想定し、国体その他の東京都代表選考レースを中心に実用化に向け取り組みます。この試行段階を第1フェーズとし今後の展開を計画します。

◎3点目：海の森水上競技場の利用促進に必要な検討・提言（第2フェーズ）

安全対策、今後整備される艇庫や備品、施設管理者が利用者に提供するサービス、同競技場への公共交通機関の整備、牡蠣等の付着物や硬質な材質の設置物による艇破損防止策など、当協会では、加盟団体の皆様が安心安全に海の森水上競技場を利用できる環境の確保のため、(公社)日本ローイング協会等と協力して課題解決を図るため、東京都や指定管理者等と協議を進めます。

◎4点目：海の森水上競技場をベースとする総合型地域スポーツクラブの設立

スポーツクラブ設立は、2020 オリパラの海の森水上競技場のレガシー計画に規定されている事業ですが、2023年春の設立に向け準備を進めます。当面はカヌー（ドラゴンボート、SUP含む）と関係した競技普及およびクラブ会員獲得の活動が中心となりますが、クラブによるあらたな競漕会の開催やスポーツクラブとして2025年度に整備予定の陸上公園と関係した活動などにも順

次、役割を拡げることになります。これは、当協会の財務体質改善や事業実施の負担軽減にも繋がる可能性があるため「海の森スポーツクラブ推進委員会」を立上げ、設立から事業実施まで推進してまいります。

以上のとおり、2023年度も加盟団体の皆様、東京都・都内各区および各水地域の協会や団体の皆様、（公社）日本ローイング協会・関東漕艇学生連盟ほか関係各位の皆様、そして当協会顧問・理事・常任委員の皆様の更なるご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

続きまして、各本部の事業計画は以下のとおりです。

【各事業計画】

1. 競技開催事業

- ・以下のとおり、競技会を開催する。

3月25、26日	第71回お花見レガッタ 第32回東日本中学選手権競漕大会	戸田
7月15、16日	第71回東日本選手権	海の森
8月26、27日	第8回東日本夏季競漕大会	戸田
9月30日～10月1日	第46回東日本新人選手権競漕大会	戸田
	第19回スカル選手権競漕大会	
	第33回東日本中学新人選手権競漕大会	

- ・新型コロナウイルス対策は、大会開催時点の状況に応じて都度取り決める。

2. 普及事業

- ・以下のとおり大会を開催する。

8月27日	第7回東日本マスターズ競漕大会	戸田
9月30日	第23回谷古茂盾争奪マスターズ競漕大会	戸田
10月1日	第13回小学生交流レガッタ	

- ・例年どおり、活動を行う。

東墨田 ボート教室 1月～12月 毎月最終日曜日

東大島 ボート教室 4月～10月 毎月第1土曜日

水元 ボート教室 4月～11月 毎月第3土曜日

多摩川, 海の森 ボート教室日程 未定

3. 強化事業

- (1) 以下のとおり予選会を開催する。（高校関係は高体連との共催）

5月	国体少年チャレンジマッチ	海の森
6月10日	第78回国民体育大会ボート競技 成年都予選会	戸田
6月18日	第71回全国高等学校選手権競漕大会 都予選会	戸田
9月16日	2023年度関東高等学校選抜競漕大会 都予選会	戸田

- (2) 以下の事業を強化事業として実施する。

- ① 国体候補選手強化事業
- ② 国体強化遠征

・以下のとおり、国体強化遠征・強化試合を予定する。

3月25、26日	お花見レガッタ	戸田
4月16日	日立明三大学レガッタ	戸田
4月29日	グリーンレガッタ	戸田
4月21～23日	中日本レガッタ	愛知池
5月3～6日	朝日レガッタ	琵琶湖

(3) 以下の5事業を(公財)東京都体育協会の受託事業として実施する。

- 国体候補選手強化事業
- ジュニア選手強化育成事業
- 指導者育成事業
- オリンピック候補選手強化事業
- トップアスリート発掘事業

4. 審判事業

(1) 当協会主催レースへの審判体制の維持

各大会20名の審判体制を堅持する。

(2) 当協会所属団体の技量向上

お花見、東日本等、全国規模でクルーが集まる大会については艇計量を実施、これに加え海の森コースを使用した大会では栈橋監視業務を実施、全日本レベルの監視業務を実施することにより当協会所属団体の経験値を向上させる。

(3) C級審判員の新規養成と活動機会増加策

2023年度も1月と7月にC級審判員試験を実施予定

また、資格取得後の技量向上のため、勉強会の実施、(公社)日本ローイング協会・関東ボート連盟・他県主催の大会及び対校戦への派遣を行うことで活動機会を増やす。

(4) 強化本部との連携

強化本部が選手を派遣する他協会等の大会については、強化本部とも連携、先方の審判委員会が許す限り、できるだけ当協会の審判員を派遣し、選手を側面からサポートする。

(5) 当会オフシーズン勉強会

12・2・3月に3回実施予定

(6) B級審判員への昇格促進

2023年B級試験への挑戦資格を持っているC級審判員への当協会研修会を実施する。

(2023年度は4名が受験予定)